

笑顔で名前をつけてあいさつしよう

六年 白井 来幸

あいさつが活やくするときは、たくさんあります。朝とうこうするときにすれちがった人や交通安全母の会の方々などにあいさつするとき、ろう下などで先生とすれちがったときです。

「〇〇先生こんにちは。」とあいさつをします。名前を呼んであいさつをするよりも、名前をつけてあいさつした方が

あいさつをされるのはうれしいと思います。

他にも、あいさつをするときよいことはあります。以前、毎朝横断歩道で安全を見守るおじさんに、

「おはようございます。」

とあいさつをしていたら、交通安全教室のとき、私の名前はわかraないので、

「いつもあいさつしてくれてありがとう。」

と言われました。毎朝あいさつをすることにやって私のことをおぼえてくださるためであ

いさつの力はすばいばと思えました。

それががお手本になって、まただれかがあ  
いさつをする、をくり返してあいさつをする  
人がびんびん増えていったら自かち相手も笑  
顔になり、さゆかた気持ちにになります。さ  
らに、名前を付けてあいさつをするとき、あい  
さつした人の名前をおぼえられるので友達か  
増えて学校生活がもっと楽しくなります。

このようにあいさつにはよいところがたく  
さんあります。お母さんも笑顔で名前を付け  
てあいさつをしましょう。

あいさつは幸せの魔法の言葉

五年 渡部 美生

私は、五年生になつて、さわやかなあいさつが出来るようになった。こきました。また、相手の名前を付けたあいさつも、出来るようになった。こきました。

私がいさつかで出来るようになった。理由は、六年生のあいさつが上手だからです。六年生のように、名前を付けてさわやかなあとさつをみると、相手も笑顔であいさつを返してく

れます。そうすると、私もうれしくなります。私は、学校だけでなく、地いきの人にも、さわやかにあいさつをしています。毎朝、私たちが見守つてくださつて、いる地いきの方にあいさつをすると、さわやかなあいさつが返つてきます。

あいさつをすることは、人を、地いきを幸せにしてくれる魔法の言葉だと思います。